

レッスン9

A. お祈りの暗唱と暗記

このレッスンを含むこれから続く4回のクラスは、たとえばセクション10にあるお祈りなど、すでに暗記しているお祈りを選んで唱えます。あなたと数人の子どもたちが開始のお祈りをしてから、以下のお祈りの暗記に入ります。このお祈りは子どもたちが前に暗記した二つのお祈りよりも長いのですが、意味を掴むのは難しくはないので、レッスン12までには覚えることができるでしょう。

神の御名が述べられ 神の賛美がうたわれた
この地 この家 この場所 この町 この心 この山 このかくれ家^が
この洞穴^{ほらあな} この谷 この大地 この海 この島 そして この草原に
祝福あれ 108

B. 歌(既に覚えた歌も含める)

けんきよ うた
謙虚の歌

1. 大地^{だいち}を見てごらん
とても謙虚^{けんきよ}
生きるために必要な^{い ひつよう}
ものを育てる^{そだ}
毎日その上を^{まいにち うえ}
歩か^{ある}れているのに
文句を言わない^{もんく}
いばらない

2. 稲穂^{いなほ}を見てごらん^み
とても謙虚^{けんきよ}
実^{みの}れば実るほど
大地^{だいち}にお辞儀^{じぎ}する
おいしいごはんになって
元氣^{げんき}をくれる
だけ^みど見てごらん
いばらない

3. 大地のように
稲穂^{いなほ}のように
謙虚^{けんきよ}の翼^{つばさ}で

おおぞら と
大空を飛ばう
謙虚の翼で
大空を飛ばう

C. 引用文の暗記

以下の考えは、このレッスンのテーマと暗記する引用文を紹介するときの役に立つでしょう。

謙虚は、とても重要な精神的特質です。神さまの前で謙虚な人は、神の偉大さと神の創造を認めます。そのような人は神様の助けや恩恵がなければ、何も達成することができないということを知っています。神さまは全能者、力に満ちた御方です。私たちは神さまの前で決して思い上がるようなことがないように、神さまの創られたものすべての前で謙虚です。私たちは地球やその上にある全てのもは神さまがお創りになったものであり、神の印と属性を表しているということを覚えています。私たちは自然を敬い、私たちの周囲のものからいつも何かを学ぶことができると心の中で知っています。次の引用文を暗記しましょう。

おお人の子よ！わが前にへりくだれ。さればわれ汝を恵み深く訪わん。^{なんじ}^と 109

<へりくだる> 謙虚な態度を持つ

1. ジナブちゃんは、算数の宿題に熱心に取り組み、テストの結果もいつも良いのですが、それを自慢することはありません。ジナブちゃんは謙虚です。
2. ヨン・フーの近所の子どもたちはとても勉強熱心です。ヨン・フー君はその子どもたちのために小さなクラスをつくるよう頼まれました。彼は、自分はあまり経験がなく、力が足りないと思いましたが、神様を信頼して、一所懸命、頑張ることにしました。彼は この仕事に謙虚に取り組みます。

<恵み深い>

1. カンダスちゃんの家族が近所の人たちを食事に招待したとき、カンダスちゃんはお客さんたちを温かく迎え、恵み深く、冷たい飲み物を配ります。
2. ジオバニ君は近所のおばあさんが買い物袋をさげて、苦勞しながら歩いているのを見ました。そこで、彼はおばあさんのために恵み深く、買い物袋を運んであげました。

<訪わん> 訪問すること。神様が私達のそば近くまでいらっしゃること。 (☆: 英語にはない)

D. お話

謙虚さは、アブドル・バハの資質の中でも特にきわ立っています。たくさんの人が彼に立派な称号を贈ろうとしましたが、師はただ「アブドル・バハ」と呼ばれることを望まれました。

た。それは「栄光に仕える者」という意味です。アブドル・バハの一番の望みは、奉仕することでした。ある時、裕福な訪問客たちが、アブドル・バハが食事の前に手を洗われるための綿密な計画を練りました。特別に正装した男の子が透明な水の入った立派な器と、いい香りのするタオルを持って、アブドル・バハを待っていたのです。水の入った器とタオルを持った小さな男の子とその訪問客たちが芝生を渡って来るのをご覧になった師は彼らの計画をお分かりになりました。そこで急いで近くにある水で手を洗い、庭師が持っていた布切れで手を拭いてから、にっこりして皆に挨拶をして、彼のために用意されたきれいな水とタオルを、お客さんたちが使えるようにされました。

E. ゲーム: 「伸び縮み」

一人の子どもが目隠しをし、残りの子どもはその子の周りを囲んで円になります。みんなで爪先立ちしてできるだけ背を伸ばしながら、一斉に「私はとっても背が高い、私はとっても背が高い」と言います。次にしゃがんで、できるだけ姿勢を低くして、「私はとっても背が低い、私はとっても背が低い」と言います。これらの動作と姿勢の調整を繰り返します。それから、子どもたちは、先生の合図にしたがって背を高くするか、低くするかしながら声をそろえて、「今、私の背は高い？ 低い？」と目隠しをした子に聞きます。目隠しした子は子どもたちの声で、背の高さを言い当てます。目隠しは順番に行います。

F. ぬり絵 9

G. 終わりの祈り



おお人の子よ！わが前にへりくだれ。さればわれ^{なんじ}汝^{めく}を^{ふか}恵み^と深く訪わん。